MEDICINOVA

JASDAQ
証券コード：4875
MNOV
NASDAQ LISTED

2011年12月期第2四半期
決算説明会

メディシノバ

代表取締役社長兼CEO 岩城裕一
副社長、東京事務所代表　岡島正恒
医薬担当副社長　松田和子

平成23年8月16日

将来の見通しに関する記述

資料には、1995年米国民事証券訴訟改革法に規定する「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、当社の製品候補の期待される進捗、ライセンシングの可能性、提携プランなどに関する記述が含まれます。これらの記述は、当社の経営陣がその時点の状況下において合理的であると判断して立てた前提に基づくものです。このような記述は、臨床試験の結果、見込み提携先の市場利益、当社が米国証券取引委員会に提出した届出書に記載されているものも含めたその他のリスク、不確定要素など、その多くは当社のコントロールが及ばないいくつもの前提、リスク、不確定要素の影響を受けるものです。実際の当社の業績は、「将来の見通しに関する記述」に示唆されるものと大きく異なることがあります。

© MediciNova, Inc. 2011

MEDICINOVA

会社理念と経営方針

会社理念

十分な治療がまだ確立していない疾病を患う
世界中の患者さんに、
よりよい治療を提供することにより社会に貢献すること。

基本経営方針

理念を具現すべく、こうした疾病の問題を
改善する医薬品の導入、開発、販売を手がける
グローバルな製薬企業を目指すこと。

© MediciNova, Inc. 2011

会社概要

本社所在地:	アメリカ合衆国 カリフォルニア州 サンディエゴ市
東京事務所 所在地:	東京都港区 西新橋 1-11-5 新橋中央ビル5階
設立年月日:	2000年9月26日
資本の部:	22,749,162米ドル（約18億円） （2011/6月末時点）
上場市場:	– 2005年2月8日、 大証JASDAQ市場上場 （銘柄コード：4875） – 2006年12月7日、 米国NASDAQ市場上場 （銘柄コード：MNOV）
主な事業内容:	医薬品の開発

経営陣	経験年数	略歴
執行役		
 **岩城　裕一** 代表取締役社長兼CEO （最高経営責任者）	36年	ピッツバーグ大学教授、 南カリフォルニア大学教授歴任、ジャフコ、日本政策投資銀行顧問、アヴィジェン取締役
 **マイケル・コフィー** チーフ・ビジネス・オフィサー兼 暫定CFO	27年	アヴィジェンチーフ・ビジネス・オフィサー、 アダムス・ファーマスーティカルス販売・ マーケティング担当上席副社長
 **カーク・ジョンソン** 副社長兼CSO （最高科学責任者）	22年	アヴィジェン研究開発担当副社長、ジェネソフト・ ファーマスーティカルス薬理学・前臨床研究専務 取締役及び上級執行役
 **岡島　正恒** 副社長、東京事務所代表	20年	大和証券 SMBC、 住友キャピタル証券、住友銀行
取締役		
ジェフ・ヒマワン 取締役会長		エセックス・ウッドランズ・ヘルス・ベンチャーズマネージング・ディレクター、シードワンベンチャーズ共同創業
ジョン・プレンダーガスト 取締役		サマー・クラウド・ベイ社長、アヴィジェン創立メンバー兼取締役、パラチン・テクノロジー、エイバックス・テクノロジー取締役会長、アンティラ代表取締役会長
アーリーン・モリス 取締役		アフィマックス社長兼CEO ジョンソン＆ジョンソン、マクネイル・ファーマスーティカル、クリアビュー・プロジェクト社長兼CEO就任
繁田寛昭 取締役		ザ・メディシンズ・カンパニー取締役、中外製薬取締役、 日本ロシュCEO

© MediciNova, Inc. 2011

MEDICINOVA

本日のアジェンダ

- 2011年上期のハイライト
- パイプライン開発状況
- 2011年12月期第2四半期決算の状況
- 今後の予定
- 当社の株価状況

© MediciNova, Inc. 2011

2011年上期のハイライト

事業活動ハイライト

2011年

3月:
- 浙江医薬(Zhejiang Medicine Co., Ltd.)との中国合弁会社設立の基本合意を発表
- イブジラストの薬物依存症適応を対象とする特許（米国）承認を発表
- 米国における米国発行登録制度に基づいた公募増資を発表

4月:
- Oxford Finance Corporationからの融資一括返済完了を発表

5月:
- 米国における米国発行登録制度に基づいた新株発行枠設定を発表

6月:
- 浙江医薬(Zhejiang Medicine Co., Ltd.)との中国合弁会社設立に関する契約締結を発表

8月:
- イブジラストの薬剤誘発性頭痛を適応とするフェーズ2臨床試験への共同参画を発表

© MediciNova, Inc. 2011

浙江医薬股份有限公司(Zhejiang Medicine Co., Ltd.)との合弁事業契約締結

JV設立の進捗状況:

- 2011年第3四半期中　中華人民共和国(以下、中国)商務部による設立承認取得予定
- JVは中国におけるMN-221 の臨床試験を開始するため、年内のIND(治験許可申請)の出願を目指す

JVの概要:

- 社名　:　浙江森迈医药生物技术有限公司
  (英文社名) Zhejiang Sunmy Medicine Biotechnology Co., Ltd.
- 登記住所　:　中華人民共和国浙江省杭州市江干区富春江路9号
- 事業内容　:　MN-221の中国国内における開発・製造及び販売並びにこれらに付随する事業(中国国家食品薬品監督管理庁に対する承認申請手続き等を含む)
- 当初登記資本金　:　14,290,000 元 (約1.8億円)
  出資比率 : 浙江医药ｸﾞﾙｰﾌﾟ70%(浙江医药本体40%,北京美福润医药30%)、当社30%

(注)当社に実際上の現金負担はなく、JVに対してのMN-221に関するライセンスの供与及び中国国内の営業権の供与などにより、出資金額分をカバーする形となります

© MediciNova, Inc. 2011

米国における米国発行登録制度に基づいた新株発行枠の設定(ATM Offering)について

At-The-Market(ATM)Offeringとは:

- 米国証券取引委員会より承認を受けた有価証券の募集についての発行登録に基づき、新株発行枠を設定し、新株発行の販売代理契約を証券会社と締結し、同証券会社が投資家からの株式購入ニーズに対し機動的に新規発行株式の販売対応を行う手法はAt-The-Market(ATM)Offering と呼ばれ、米国企業が機動的に資金調達を行なうための一般的な手法です。

新株発行枠の概要:

- 発行枠　:　15百万米ドル(約12億円)
- 発行価格　:　販売時点におけるNASDAQ グローバル市場での当社普通株式の市場価格、市場価格を基準とした価格
- 販売代理証券会社　:　McNicoll, Lewis & Vlak LLC
- 募集を行う地域　:　米国
- 募集可能期間　:　2011年5月6日(金)から発行枠に到達するまで
- 払込期日(受渡期日)　:　販売日＋3営業日
- 資金使途　:　MN-221(喘息の急性発作およびCOPD 治療薬)を中心としたパイプラインの開発及び一般事業目的に使用予定。

※2011年8月15日現在、本新株発行枠を利用した新株発行は設定以降実施されておりません。

© MediciNova, Inc. 2011

MEDICINOVA

MN-166/AV411の薬剤誘発性頭痛を適応とするフェーズ2 臨床試験への共同参画

フェーズ2臨床試験の概要:

- オーストラリア、アデレード大学臨床薬理学研究室の頭痛及び疼痛研究の専門家であるPaul Rolan 医学博士と当社が共同で行う医師主導型治験で、当社は薬事関連のサポートを実施し、使用する薬剤とプラセボのカプセルを供与する
- 少なくとも40 人以上の患者を対象とし、無作為に選んで同数に分けた患者に対して、8 週間にわたり、プラセボまたは一日80mg のイブジラストを投与する二重盲検比較方式で実施
- 検査項目は、通常の頭痛調査に使用する定量的感覚検査（QST）のほか血漿及び血球のバイオマーカーを含む
- 頭痛に関する評価項目として、さらに治療後6 カ月の発症も評価

薬剤誘発性頭痛とは:

- 薬剤誘発性頭痛は、緊張型頭痛、偏頭痛に続き3 番目に多いタイプの頭痛で、慢性症状を呈し、成人の1-2%に症状があると推定されている
- イブジラストが薬剤誘発性頭痛に効果があると仮定した論拠は、薬剤誘発性頭痛が、コデインのようなオピオイド鎮痛薬を要因とする脳及び脊髄の痛みを感じる経路の過剰活性並びに、脳内部のグリア細胞の活性化の相乗作用によって引き起こされると考えられているため
- イブジラストは、グリア細胞の活性化のアテニュエーターとして広く知られており、臨床試験においても、オピオイド鎮痛薬の離脱症状に対する効果が認められている
- 薬剤誘発性頭痛には、エビデンスに基づいた治療法があまり確立していない上、従来の治療薬には認知作用及び鎮静作用に対する深刻な副作用があり、慢性疼痛の一因としてグリア細胞の果たす役割についての最近の研究結果に基づいたイブジラストの利用が、副作用の少ない薬剤誘発性頭痛薬へのニーズを充たすことが期待されている

© MediciNova, Inc. 2011

IR説明会ハイライト

2011年

2月： – 日本証券新聞社主催 個人投資家向けセミナー（名古屋）

4月： – 平成22年12月期決算説明会（東京）

– 「賃貸住宅フェア」内株式投資フェア（京都）

– 「賃貸住宅フェア」内株式投資フェア（香川）

5月： – 「賃貸住宅フェア」内株式投資フェア（大宮）

– 「賃貸住宅フェア」内株式投資フェア（福岡）

7月： – 「賃貸住宅フェア」内株式投資フェア（東京）





© MediciNova, Inc. 2011

MEDICINOVA

MEDICINOVA

パイプライン開発状況

ポートフォリオ



MEDICINOVA

MEDICINOVA

パイプライン開発状況①

MN-221: 気管支喘息急性発作
慢性閉塞性肺疾患（COPD）

喘息の急性発作

概要:

- 長時間にわたる重度の発作状態で気管支拡張剤やコルチコステロイドなどが作用しない状態

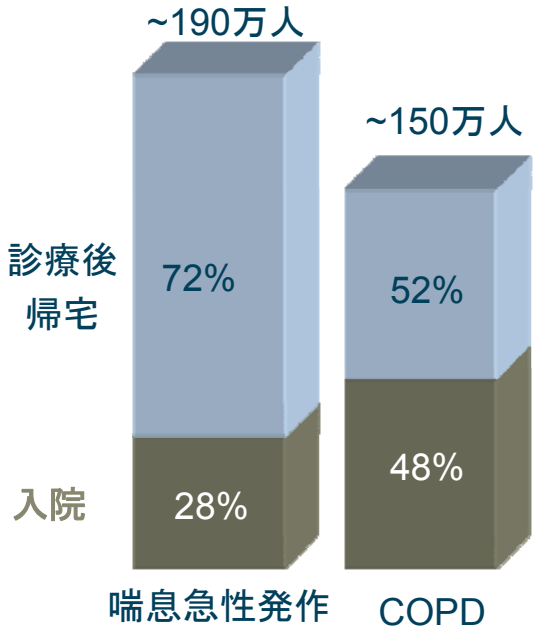
市場規模:

- 米国で年間200万人がERを訪れる
  そのうち入院に至る患者数　年間500,000人
  - 入院の平均日数　3.3日
  - 入院費用平均　6,477$
- 英国、スペイン、ドイツ、フランス、イタリアにおいて、年間270万人がERを訪れる
  そのうち入院に至る患者数　年間560,000人

既存の標準療法(米国):

- β2アドレナリンレセプター作動薬:吸入
- 抗コリン作動薬:吸入
- コルチコステロイド:IVもしくは経口

喘息の急性発作とCOPD患者における入院率(米国)



出典:National Center for Health Statistics / CDC, WHO website, "Core Health indicators"

© MediciNova, Inc. 2011

MEDICINOVA

喘息の急性発作における米国救急治療室での治療フロー

喘息の急性発作により救急治療室を訪れる患者数

年間1,900,000

救急治療室における初期治療：

多くの場合、待合室において標準治療を受ける

救急治療室における二次的治療:

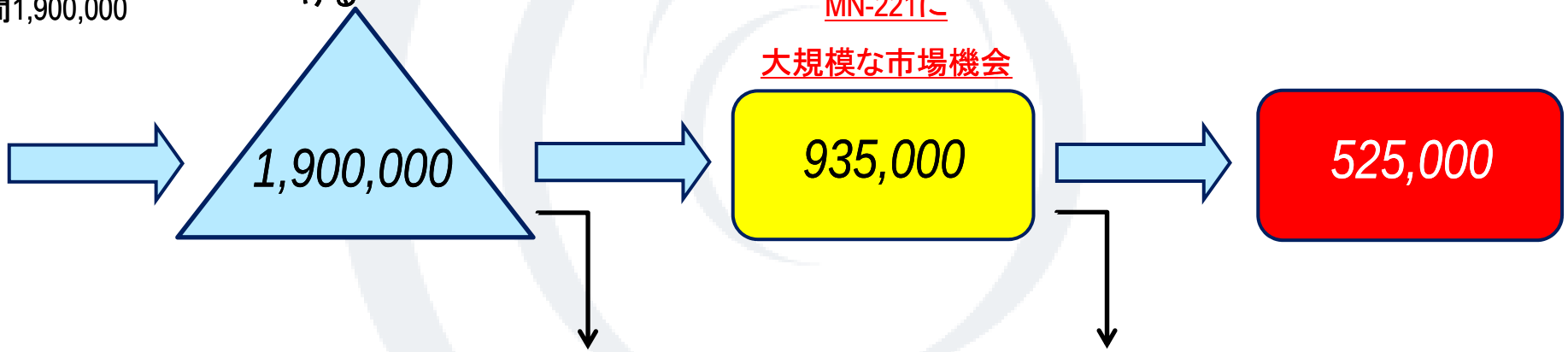
すぐに反応の出ない患者には、さらに標準治療を続ける

MN-221に

大規模な市場機会

入院:

標準治療に反応のない患者は入院



965,000

初期治療に反応し帰宅する患者の数

410,000

標準治療に最終的に反応し帰宅する患者の数

出典: Weber, Silverman et al, American Journal of Medicine, 2002, Volume 113; pp 371

© MediciNova, Inc. 2011

MEDICINOVA

MN-221のマーケット予想

Market	喘息急性発作	COPD 発作
米国	375-400 百万米ドル	380-420 百万米ドル
ヨーロッパ	200-300 百万米ドル	200-300百万米ドル
その他	150-250 百万米ドル	150-250 百万米ドル
世界的な MN-221 売上規模	725-950百万米ドル	730-970 百万米ドル
世界的な MN-221 総売上	15-19億ドル	

Source: Physician interviews, team analysis

© MediciNova, Inc. 2011

MEDICINOVA

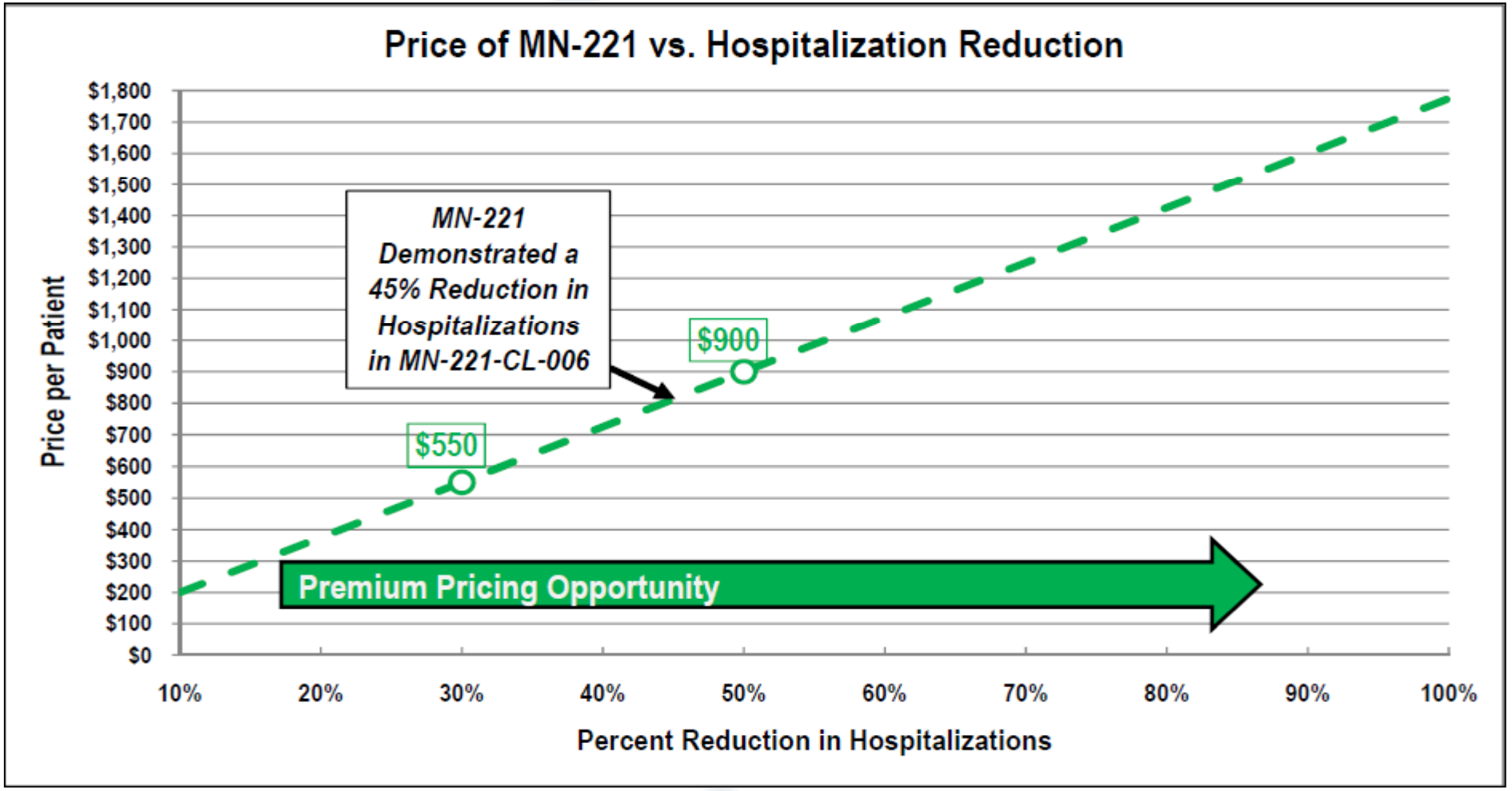
喘息の急性発作を適応とする MN-221のフェーズ2試験デザイン

	MN-221-CL-004	MN-221-CL-005	MN-221-CL-006	MN-221-CL-007
喘息のタイプ	安定期にある軽度から中等度の患者	安定期にある中等度から重度の患者	急性発作患者	急性発作患者
FEV_1 基準	$FEV_1 \geq 60\%$	$40\% \leq FEV_1 \leq 75\%$	$FEV_1 \leq 55\%$	$FEV_1 \leq 50\%$
患者数	23	17	29	200 （予定）
試験施設数	4	4	8	20（予定）
プラセボと比較する試験用量	5.25, 15, 52.5, 150, 240, 450, 900 µg 15分間	1080 µg; 2時間 1,125 µg;1時間	240, 450 µg;15分間 1080 µg;2時間	1200 µg;1時間
併用療法	なし	なし	標準療法	標準療法

© MediciNova, Inc. 2011

MEDICINOVA

MN-221の価格 vs.入院率の削減による経済効果



Source: Guidepoint Global survey of Medical Directors at U.S. managed care companies

© MediciNova, Inc. 2011

MEDICINOVA

MN-221 (CL-007)の臨床試験の概要

フェーズ2臨床試験の概要

- プラセボを対照とする無作為二重盲検比較
- 米国における多施設(救急施設)
- 200名の重度の喘息急性発作患者(FEV_1 ≤50%)を対象として実施
- 投与量について(各群それぞれ100名ずつ)
  - 標準治療を行い、同時にMN-221毎分40μgを15分間、その後毎分13.3μgを45分間、合計で1,200μgを投与。
  - 従来の標準治療を行い、同時にプラセボ投与を受ける群
- 主要評価項目:

  治療3時間後の呼吸機能の改善
  - 「MN-221+標準治療」と「プラセボ+標準治療」との比較で、FEV_1 の5%改善に対して80%の検出力を持つようにデザイン

© MediciNova, Inc. 2011

MN-221(CL-007)　アップデート

治験プロトコール を改訂 バージョン7

2011年3月：Primary Investigator & Study Coordinator　ミーティング と
2011年4月：DSMB(drug safety monitoring board)ミーティング
からのフィードバックを基にプロトコル改訂（2011年5月12日　FDA提出）

目的：治験参加患者さんの安全性を最大限守りながら、治験参加数を増加させる事
　　プロトコールからの逸脱“waiver”を最小限にすること

改訂内容　ハイライト

- 対象年齢：18-65歳まで　（改訂前:18-55歳）
- 喫煙暦:　20　pack-yearまで　（改訂前:　15pack-yearまで）
- 利尿剤服用中の方：スクリーニング時血中カリウム値が3.5mEq/L以上であればOK
- 喘息急性発作　標準治療の一つであるステロイド投与のタイムラインの拡大

© MediciNova, Inc. 2011

患者登録の実績及び予定

Stage	期間	平均登録患者数 /月
2011年第1四半期	2011 年1月1日– 2011年3月30日	11.6人
2011年上半期	2011年1月1日 – 2011年6月30日	9.2人

© MediciNova, Inc. 2011

MEDICINOVA

MN-221　特許の概要

- 組成物特許を含む、特許とノウハウのポートフォリオを保有
- 米国における特許は組成物特許及び用法特許。特許期限2017年2月
- 米国ではWaxman-Hatch法による特許期間の延長が適用（業界内平均4.5年間）
- 米国以外の諸国においても組成物特許を有し、その特許期限は2017年2月以降
- 米国ではWaxman-Hatch法が、承認から5年間の独占期間を認めている
  （これに小児科分野の独占期間及びANDAの審査期間をプラスして
  最短でも7年間の延長）
- ヨーロッパでは、新規化学物質の最初の承認の際は10年間の独占期間

© MediciNova, Inc. 2011

MN-221　安全性

安全性のデータ

- 現在までに米国とヨーロッパですでに300人が治験を終えている
- 完了済のいずれの臨床試験でも重大な副作用の報告はない
  （心臓血管、心電図その他）
- さまざまな注入速度で用量3,840μg/日まで試験済
- 被験者
  - 健常なボランティア
  - 健康な妊婦
  - 喘息患者

© MediciNova, Inc. 2011

パイプライン開発状況②

MN-166: 多発性硬化症
中枢神経疾患
薬物依存

イブジラスト(MN-166/AV411)
神経因性疼痛、薬物依存及び多発性硬化症

イブジラストの特徴:

- 経口薬
- 実証済みの安全性及び認容性(日本、韓国でケタスとして既に320万人以上が服用)
- 主な作用機序;マクロファージ遊走阻止因子(MIF)阻害、PDE-4,10阻害、グリア細胞の活性化抑制

臨床的安全性及び有効性:

完了済

- 多発性硬化症を適応とするフェーズ2臨床試験完了
  (1日に30mgまたは60mgを投与。主として再発寛解型多発性硬化症患者対象。被験者数297)
- 糖尿病性神経因性疼痛を適応とするフェーズ1b/2a臨床試験完了(1日40mg及び1日80mg。被験者数30)
- オピオイド離脱・鎮痛を適応とするフェーズ1b/2a臨床試験完了(1日40mg及び1日80mg。被験者数30)
  (NIDA(米国国立薬物濫用研究所)による資金援助・コロンビア大学及びニューヨーク州精神医学研究所が実施)

実施中

- メタンフェタミン依存を適応とするフェーズ1b臨床試験実施中
  (NIDAによる資金援助・UCLAが実施。予定被験者数12)

その他、裏付けとなるデータ

- 3本の完了済みのフェーズ1臨床試験(最大投与量1回100mg及び1回50mg×1日2回のデータ)
- 現在までにMN-166による治療を受けた被験者数は400例に上る(安全性、認容性)

© MediciNova, Inc. 2011

イブジラスト(MN-166/AV411)
適応別臨床開発の背景および開発状況

疼痛:

- 新規の作用機序(グリア細胞アテニュエーター、MIF阻害作用)→既存の疼痛治療に対する補助的な役割と独立した有用性の両方を併せ持つ、副作用の点からも有利
- フェーズ 2b “ready”の状態 → フェーズ2b臨床試験に直接進捗することが可能
- **薬物誘因性頭痛の共同フェーズ2 臨床試験がオーストラリアで開始**

薬物依存(コカイン、メタンフェタミン(覚醒剤)依存):

- フェーズ1b/2a臨床試験で良好な安全性及び有効性を明らかにした結果(2010年12月)
- UCLAがメタンフェタミン依存治療を適応とするフェーズ1b臨床試験を開始(2010年9月)

多発性硬化症 (MS(Multiple Sclerosis)):

- フェーズ2治験は2008年に終了、2010年に治験結果が神経医学雑誌“Neurology”に掲載
- フェーズ2臨床試験から得たデータは、最大耐量未満のデータ。Dose response が確認されているので、投与量を増加させた場合は更なるresponseが期待出来る
- 二次進行型MSの適応が望ましい一追加フェーズ2b臨床試験が必要
- 神経保護作用での進行型MSの特許申請済み

© MediciNova, Inc. 2011

神経因性疼痛適応における イブジラスト(MN-166/AV411)の市場規模

医薬品	製薬会社	2009 年の処方総数 (米国)
Lyrica®	Pfizer	9.1 百万
Cymbalta®	Eli Lilly	14.7 百万
Neurontin® (Gabapentin)	Pfizer	23.4百万
	総数	47.1 百万
	神経因性疼痛の 年間市場規模:	~$80億 ドル†

出典: SDI/Verispan, Lilly and Pfizer Quarterly Reports

† 市場価格は、ブランド価格を用いて計算しています

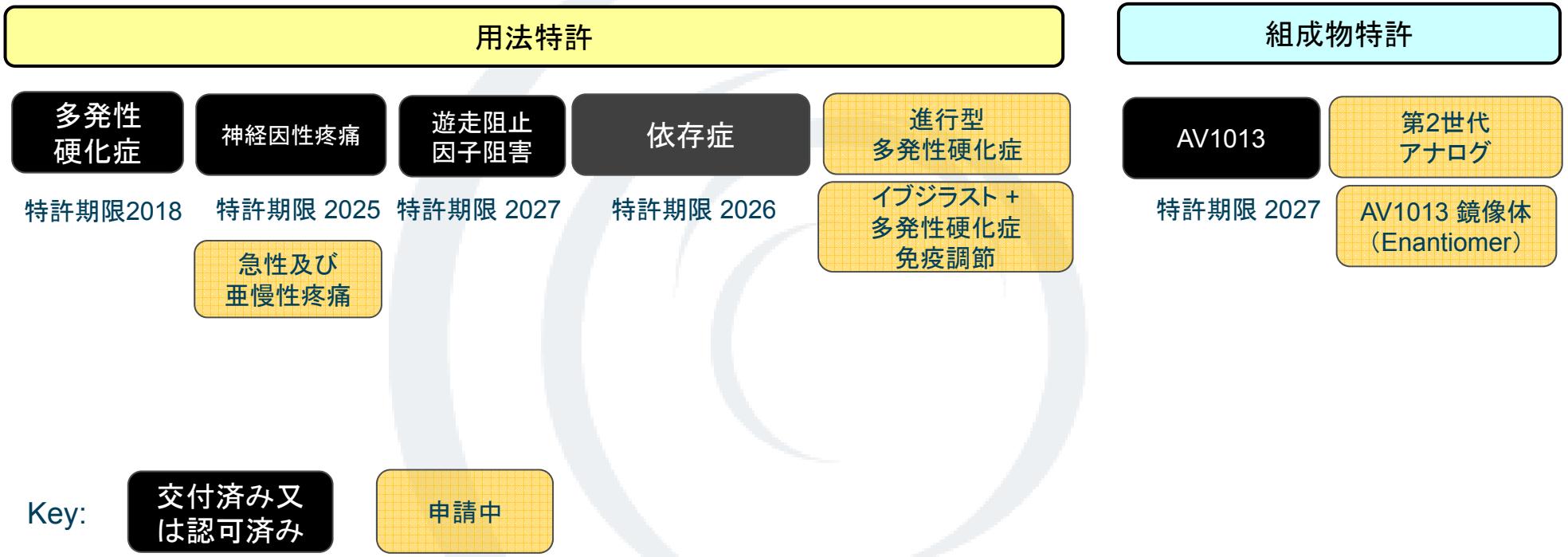
- 米国内で約4.2百万人、全世界では4千万人の患者数
- イブジラストは、既存の神経因性疼痛治療薬とは異なる作用機序を有する
- イブジラスト はかなり高い市場占有率を獲得する可能性あり

Approved indications: Lyrica: Neuropathic pain associated with diabetic peripheral neuropathy, post herpetic neuralgia, partial onset seizures, fibromyalgia; Neurontin: postherpetic neuralgia, partial seizures ; Cymbalta: Major Depressive Disorder, Generalized Anxiety Disorder, Diabetic Peripheral Neuropathic Pain, Fibromyalgia

© MediciNova, Inc. 2011

MEDICINOVA

イブジラスト(MN-166/AV411)の特許マップ



© MediciNova, Inc. 2011

MEDICINOVA

MEDICINOVA

2011年12月期
第2四半期決算の状況

2011年12月期第2四半期決算業績

		2011年度上期	2010年度下期	前期比（%）
営業収益	千米ドル	—	—	—
	百万円	—	—	
営業損失	千米ドル	8,699	8,495	4.6%増加
	百万円	677	661	
純損失	千米ドル	10,337	10,692	3.3%減少
	百万円	805	832	

為替レートは2011年7月29日
三菱東京UFJ銀行のTTM1ドル＝77.85円を使用

営業損失：8.7百万米ドル

〈前下期比：0.2百万米ドル（約0.2億円）減少〉

純損失：10.3百万米ドル

〈前下期比：0.4百万米ドル（約0.3億円）減少〉

結果：

- 当期営業損失は2011年5月17日発表の2011年12月期第2四半期業績予想に対してそれぞれ6.6%、13.0%の減少となった

© MediciNova, Inc. 2011

MEDICINOVA

2011年12月期第2四半期業績の予実対比

（千米ドル）	2011年12月期第2四半期業績実績	2011年5月17日発表の2011年12月期第2四半期業績予想	増減額（％）
売上高（営業収益）	—	—	—
営業損失	8,699	9,313	△614 (△6.6%)
純損失	10,337	11,886	△1,549 (△13.0%)

※現状、2011年12月期通期業績予想に変更はありません。

営業損失

営業損失予実対比：0.6百万米ドル減少

純損失予実対比：1.5百万米ドル減少

要因：

- MN-221喘息急性発作治療薬のフェーズ2臨床試験（CL-007）の費用の発生が想定より遅れたことにより、0.6百万米ドル減少
- Oxford Financeからの長期借入金一括返済に関連する費用が想定より少なく押さえることができたことにより、0.9百万米ドル減少

© MediciNova, Inc. 2011

MEDICINOVA

要約貸借対照表

*左記要約貸借対照表は説明上重要性の高い一部の項目のみ記載しております。

（千米ドル）	2011年6月	2010年12月	増減
現金及び現金同等物	11,922	28,252	△16,330
使途制限付現預金	―	28,689	△28,689
前払費用及びその他の流動資産	792	779	+13
のれん他（ｱｳﾞｨｼﾞｪﾝ買収関連）	14,400	15,024	△624
有形固定資産（純額）	41	65	△24
その他資産	―	125	△125
資産合計	**27,156**	**72,934**	**△45,778**
支払債務	329	1,100	△771
未払費用・税金・給与及び関連費用	2,121	1,489	+632
ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ・ﾄﾗﾝｼﾞｼｮﾝ・ﾌﾟﾗﾝ(MTP)負債	―	624	△624
繰延税金負債	1,956	1,956	―
長期借入金	―	14,435	△14,435
転換社債	―	28,626	△28,626
負債合計	**4,407**	**48,230**	**△43,823**
払込剰余金	301,864	293,484	+8,380
自己株式	△1,194	△1,198	+4
開発段階での累損欠損	△277,875	△267,538	△10,337
株主資本合計	**22,749**	**24,704**	**△1,955**
負債及び株主資本合計	**27,156**	**72,934**	**△45,778**

現金及び現金同等物：11.9百万米ドル

〈前期末比：16.3百万米ドル（約12.7億円）減少〉

- 2012年6月30日までの予定された研究開発費を充分にカバー

資産合計：27.2百万米ドル

〈前期末比：45.8百万米ドル（約35.6億円）減少〉

- 2011年6月18日に転換社債28.6百万米ドルの償還を迎え、償還金として留保していた使途制限付現預金28.7百万米ドルが減少
- Oxford Financeからの長期借入金一括返済(元本、未払利息、その他費用を含め15.2百万米ドル)したこと及び営業活動に9.3百万米ドルの資金を使用、また、これを米国での公募増資による8.0百万米ドル増加を相殺したことを主な要因として、現金及び現金同等物が16.3百万米ドル減少

負債合計：4.4百万米ドル　※有利子負債がゼロとなる

〈前期末比：43.8百万米ドル（約34.1億円）減少〉

- Oxford Financeからの長期借入金一括返済し、14.4百万米ドル減少
- Avigen買収時に発行した転換社債が2011年6月18日に償還を迎え、転換社債が28.6百万米ドル減少、また、同時にAvigen MTP0.6百万米ドルも清算され、合計29.3百万米ドルの減少

株主資本合計：22.7百万米ドル

〈前期末比：2.0百万米ドル（約1.5億円）減少〉

- 開発段階での累損欠損10.3百万米ドル増加
- 米国での公募増資、転換社債の転換行使及びストックオプション行使よる払込剰余金8.4百万米ドル増加

© MediciNova, Inc. 2011

MEDICINOVA

要約損益計算書

*左記要約損益計算書は説明上重要性の高い一部の項目のみ記載しております。

（千米ドル）	2011年度 上期	2010年度 下期	増減
売上高	**－**	**－**	**－**
売上原価	－	－	－
研究開発費	4,664	4,457	+207
一般管理費	4,035	4,038	△3
営業費用合計	**8,699**	**8,495**	**+204**
営業損失	**8,699**	**8,495**	**+204**
借入金関連費用除却損	△494	－	△494
投資有価証券損益	－	△842	+842
支払利息	△1,102	△1,318	+216
当期純損失	**10,337**	**10,692**	**△355**

研究開発費：4.7百万米ドル

〈前下期比： 0.2百万米ドル（約0.2億円）増加〉

– MN-221気管支喘息急性発作治療薬の大規模フェーズ2臨床試験の患者登録ペースアップに伴う費用増加： 0.2百万米ドル増加

一般管理費：4.0百万米ドル

〈前下期比：±0百万米ドル減少〉

借入金関連費用除却損：0.5百万米ドル

〈前下期比：0.5百万米ドル（約0.4億円）増加〉

– Oxford Financeからの長期借入金一括返済に関連する費用が0.5百万米ドル発生

投資有価証券評価損：0百万米ドル

〈前下期比：0.8百万米ドル（約0.6億円）減少〉

– 2010年に処理が完了したARSに関連する投資有価証券評価損益は、2011年上期に発生しなかったことによるもの

支払利息：1.1百万米ドル

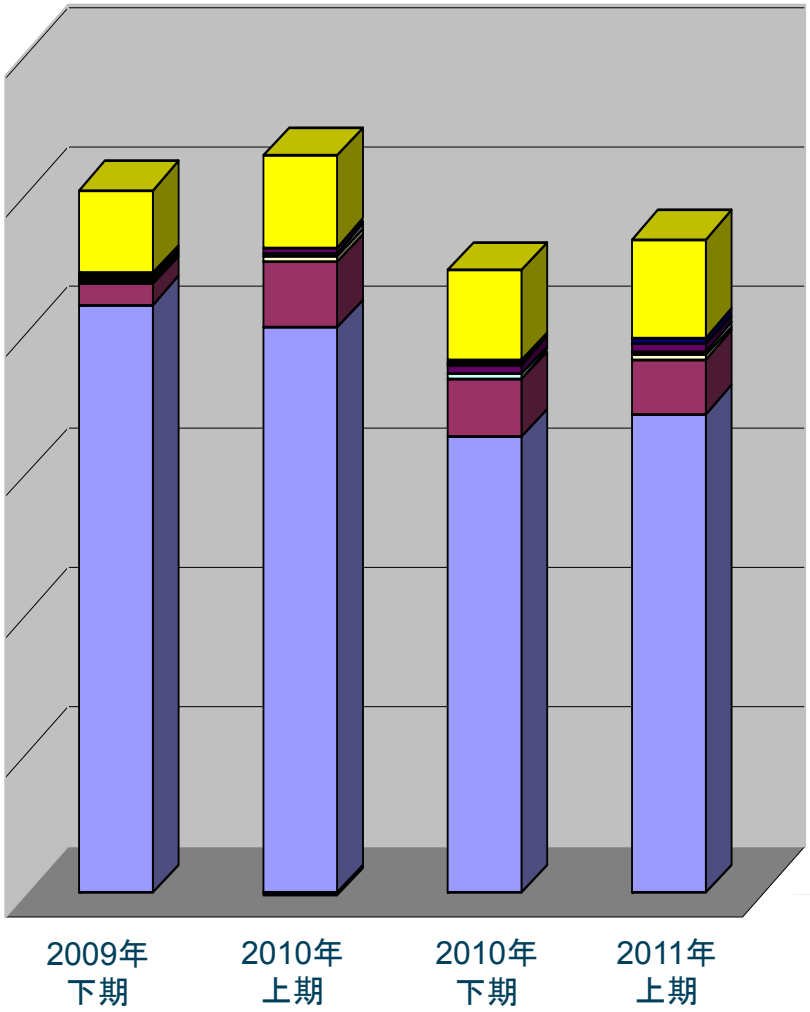
〈前下期比：0.2百万米ドル（約0.2億円）減少〉

– 長期借入の一括返済に伴う支払利息の減少によるもの

© MediciNova, Inc. 2011

MEDICINOVA

研究開発費内訳推移



（千米ドル）	2009年下期	2010年上期	2010年下期	2011年上期	前下期対比
MN-221 気管支喘息急性発作/COPD	4,206	4,044	3,260	**3,432**	172
MN-166 多発性硬化症/その他CNS	144	472	413	**389**	△ 24
MN-001 気管支喘息	29	36	13	**31**	18
MN-001 間接性膀胱炎	15	28	21	**16**	△5
MN-029 固形癌	25	34	72	**44**	△ 28
MN-305 全般性不安障害/不眠症	△ 3	5	4	**1**	△ 3
MN-221 切迫早産	1	2	5	**2**	△ 3
MN-246 尿失禁	10	△ 17	1	**2**	1
MN-447 抗血栓	-	-	18	**46**	28
MN-462 抗血栓	-	-	-	**-**	-
その他	600	650	650	**701**	51
開発費合計	5,027	5,254	4,457	**4,664**	207

© MediciNova, Inc. 2011

MEDICINOVA

MEDICINOVA

今後の予定

今後の予定

導出活動について

1. MN-166 多発性硬化症治療薬と薬物依存症治療薬、神経因性疼痛治療薬
   - パートナーシップの締結
2. MN-221 気管支喘息急性発作治療薬/COPD治療薬
   - 戦略的パートナーシップ(地域、用途別)の締結

臨床開発について

MN-221 (CL-007)気管支喘息急性発作治療薬の大規模フェーズ2臨床試験
   - 2011年、年内の完了を予定

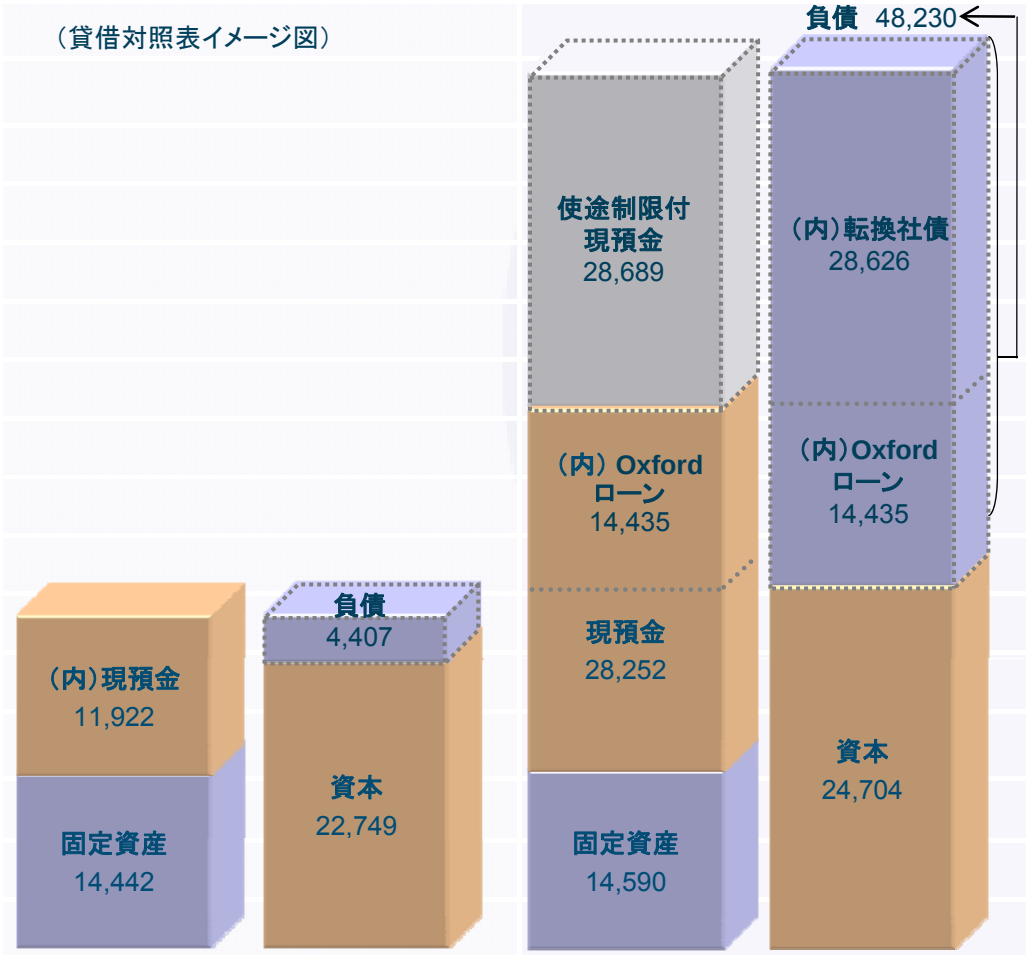
© MediciNova, Inc. 2011

MEDICINOVA

当社の株価状況

1株当たり指数と時価総額

三菱東京UFJ銀行の為替レート（TTM）を使用
2010年7月29日、1ドル=77.85円



（百万円）		2011年6月	2010年12月	増減	単位
広義の現金		11,922	28,252	△16,330	千米ドル
		928	2,199	△1,271	百万円
資本合計		22,749	24,704	△1,955	千米ドル
		1,771	1,923	△152	百万円
1株当たり純資産		1.49	1.99	△0.50	米ドル
		116	155	△39	円
1株当たり広義の現金		0.78	2.26	△1.48	米ドル
		61	176	△115	円
株価		2011年6月30日終値	2010年12月30日終値		
	ナスダック	2.69	4.71	△2.02	米ドル
	ジャスダック	239	409	△170	円
時価総額	ナスダック	41,229	58,794	△17,565	千米ドル
	ジャスダック	3,663	5,105	△1,442	百万円
発行済株式数		15,326,694	12,482,867	+2,843,827	株
自己株式数		41,909	43,735	△1,826	株

© MediciNova, Inc. 2011

JASDAQとNASDAQ市場の株価比較



1日あたりの平均出来高

2008年通期	2009年通期	2010年通期	2011年上期
ジャスダック： 4,407株	ジャスダック：45,060株	ジャスダック：20,464株	ジャスダック：42,045株
ナスダック：12,494株	ナスダック： 8,199株	ナスダック： 2,211株	ナスダック： 58,986株

© MediciNova, Inc. 2011

MEDICINOVA



ヘラクレス証券コード：4875



ナスダック Ticker：MNOV